

〈東北・新潟の活性化応援プログラム〉 2022年 助成団体活動成果レポート

助成団体

Alfrece composition 株式会社

秋田県由利本荘市

プロジェクト名

秋田県産ぶなしめじを生分解性フィルムを使って県外に届ける!

■地域の課題

秋田県産ぶなしめじの主要産地である由利本荘市西目町。しかし、日本全体のきのこの生産量は産地ごとに大きく偏りがあり、秋田県のぶなしめじ工場はどんどん減少しています。実際、2022年3月末をもって廃業を考え、従業員が一斉退職せざるを得なくなった工場もあります。

■当団体の紹介

秋田県産米のもみ殻と秋田杉の木くずを利用してぶなしめじを生産し、環境に配慮した生分解性フィルムで包装して県外へ出荷します。さらに、販路拡大などに課題を抱える高齢農家にも利用しやすい農作物の受発注サービスを開発し、その普及と促進を図ることで、地元農業の活性化を目指します。





プロジェクトの概要

■背景・目的は？

これまで栽培していた秋田県産のお米の籾殻と秋田杉の木くずに菌を付けて生産されたぶなしめじは、香りが良く、ぷりぷりの食感で、地域資源の循環にも貢献していた、秋田が誇るおいしいぶなしめじでした。このぶなしめじの生産を止めないために、私たちはきのこ工場と協力し、西目町産ぶなしめじのリニューアルに挑戦しました。

■具体的な活動は？

【実施内容】

1. 秋田県産のお米のもみ殻と秋田杉の木くずに菌を付けてぶなしめじを再び生産します。また、生分解性フィルムの製造を工場へ依頼し、同時進行を進めます。
2. ぶなしめじの販売先を確保し、生分解性フィルムの回収拠点を設置します。
3. パッケージを行い、販売を開始します。

【実施状況】

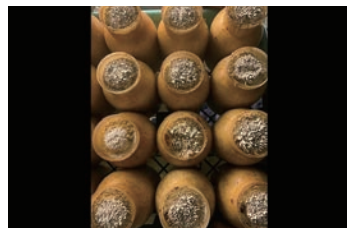
現在、1.の2項目目である生分解性フィルムの製造段階に差し掛かっており、フィルム生産工場にサンプル製造を依頼しています。

また、同時進行で2.の活動も進めており、良品計画様、久世福商店様、bottle Tokyo様の3店舗で取り扱いが決定しました。

順調に進めば、来年1月中には販売を開始できる予定です。



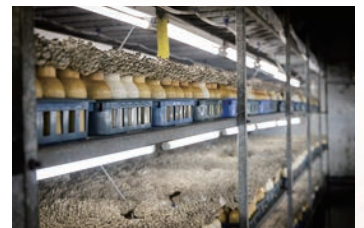
環境に配慮したフィルムで包装



県産米の籾殻と秋田杉の木くずを活用



ぶなしめじの工場



湿度、温度を徹底管理

■活動の成果は？

まだ実際に販売を開始していないため、地域にもたらされた効果は現時点では見えていない状況です。しかし、本来の目的であった由利本荘市産ぶなしめじの生産は継続できており、今後リニューアルによって生産量をさらに増やしていけたらと考えています。

今回の助成金がなければ、フィルムの生産はもちろん、サンプル購入すら難しい状況でした。

どうしても利益の少ない野菜の卸事業の中から新プロジェクトへの投資を行うのは厳しい中で、サンプル購入費用の一部に助成金を活用できたことは、プロジェクトの進行にとって非常に大きな一歩となりました。



香りの良さも自慢



ぶりぶりの食感で人気



増産を計画中



高齢農家が使える受発注システムも開発

団体からのコメント

まずは問題なくフィルムを生産し、販売、回収までを一貫して実現させていきたいと考えています。

前述のとおり、野菜の価格が安いいため、事業の利益率も低い状況です。そのため、人件費を十分に確保することが難しく、業務量に対して人員が不足しているのが現状です。

既存事業を継続しながら、事業の基盤を支えるために、高齢農家でも利用可能な受発注サービス「イージー」のシステム開発を進めています。このふたつの軸を基に事業を拡大していきたいと考えています。